

卒園生とのキャンプ

「卒園生とキャンプをしよう！」そう考えたのは 1989 年のこと。先生たちも大賛成で、場所、やり方などを考えはじめ、土日にかけて宮島で「下見キャンプ」もしました。

ところで行事でたいせつなのは目的。子どもたちのキャンプというと、ふつう「体験学習」とか「自然とのふれあい」などが目的になります。でもこの時、先生たちとキャンプの目的について話し合ったおぼえがありません。あえて言えば「なつかしいから」なのですが、たぶんみんな同じ気持ちだったのでしょう。また、りっぱな目的を書かないのに卒園生のほとんどが集まってくるのは、子どもたちにとっても「なつかしい」というのが、ちゃんとした理由になっているのでしょう。

それでも、はじめのうちはつい張り切っているいろいろな計画を立ててしまいましたが、年々計画は少なくなっていきました。そうすると先生たちもゆとりができて、心から子どもたちとの時間を楽しめるようになってきました。計画しすぎないことが大切ですね。

そんなわけで、一泊二日のキャンプですることは、おもに食べることと寝ることだけ。そのほかにもいろいろな活動もしますが、ほぼ自由参加。もっとも、ふべんなところでのキャンプですから、ごはんを作るだけでも、かなりがんばらなくてはなりません。

毎年行っている北広島町のキャンプ場は、手入れは行きとどいていますが、不便なことたくさんあります。ごはんをたくのはまき、トイレはくみ取り式、テントはもちろん自分たちで立てる。「シャワーはないの?」「もっときれいな所でやろうよ」などと言う子もいますが、あれ以上そろっているのがいいのなら、キャンプとは言えません。

少し気になるのは「〇〇していいですか?」「△△はしなきゃいけないの?」とか、何でもかんでも聞く子が多いこと。「あなたたち、幼稚園のころは自分で考えてたよ」と言いたいのをこらえて、「自分で考えて」「おしらせに書いたよ」など、答えを自分で出せるようにしています。先生という人たちは自分たちに何かをさせようとしている、とか、分からないことは聞けば指示してくれる、という気持ちが強いのでしょうか。

そこで私はキャンプのはじめにこんな話をします。「キャンプはみんなで作っていく二日間です。楽しく過ごしましょう。ただし、みんなは自分で来て来て来たのだから、自分のことは自分で、みんなのことはみんなでちゃんとやってください。それ以外のことはしたくなくればしなくてかまいませんが、自分がやらなきゃいけないことを人にさせたり、人にめいわくをかけるようなことをするのは、あまえです。」

そうです。先生たちは指示して何かをさせようなどは考えていません。ただ集まって楽しめばいいと思うだけです。そして、しだいにいきいきと遊んだり仕事をしたりしはじめる小学生たちを見ていると、キャンプでは基本的な生活と、いっしょに過ごす時間と、大きな自然があればよけいなことはしない方がいい、とますます思うようになりました。

★ 別れ

1992年にかえで幼稚園の歌「太陽とあそぼ」を作詞して下さった笠木透さんが、昨年12月に亡くなりました。「遊んでぼくらは人間になる」「遊びはこどもの仕事だから」など、かえで幼稚園の芯となるだけでなく、幼児教育の神髄を表しているとも思える言葉が盛り込まれた園の歌は、かえで幼稚園関係でない人にも広く知られています。この4月に地元の岐阜県中津川市で「お別れコンサート」が開かれましたが、作曲者の岡田京子さんに誘われて、私は市民会館のステージでこの歌を歌いました。立ち見が出るほど超満員でしたが、ほとんど緊張しませんでした。笠木さんが力をくださったのでしょうか。終演後、たくさんの方から「この歌、CDで聞いてます。大好きなんです」とか「私も保育者です。一度かえで幼稚園に行きたいです！」などと声をかけていただきました。ご冥福をお祈りするとともに、この歌が表しているような幼稚園であり続けたいと改めて思います。

★ ドキュメンタリー、その後

そして、3年前に全国放送された、かえで幼稚園のドキュメンタリー番組もタイトルが「あそんでぼくらは人間になる」。その反響は続いています。いろいろな大学の先生たちの後押しで、放送で使われなかった膨大な映像を元に、保育者の研修や学生の授業で使えるビデオを作る話も進んでいます。ぜひ実現してほしいものです。

★ 卒園生の数

かえで幼稚園の卒園生が、この3月で2,000人を超えました。そして、幼稚園日より「れんらくせん」も通算700号を超えました。改めて積み重ねてきたものの重みを感じるとともに、今まで支えてくださったたくさんの方々に感謝の気持ちを捧げたいと思います。

★ フルカラー印刷機

今までの輪転機に代わり、最新式のフルカラー印刷機を導入しました。この規模の園には少々贅沢なのですが、これからもさらに「発信力」を増していきたいと思えます。

★ ホームページ大改装

幼稚園のホームページは、昨年、大幅なリニューアルをしました。スマホでも見やすくなっています。右のQRコードを使うとアクセス簡単！



2015年度の幼稚園行事予定

みんなに会えるデー（新1年生対象）：5月21日（木）…終了

卒園生キャンプ：7月28日（火）～29日（水）

運動会：10月11日（日）　　そうさくらんど：11月22日（日）

タイムカプセル掘り出し会（第20期生）：2016年1月3日（日）

卒園生キャンプのおしらせ

卒園生のためのキャンプは、小学校5年生と高校1年生以上の人が参加できます。日程は上記の1泊2日、場所は広島県北広島町です。

卒園生キャンプへの参加率は90%近く、遠くに引っ越ししたけれど、この日のために広島に帰ってくる人もたくさんいます。ただ、学校の野外活動などと重なって、残念ながら参加できないというケースもあります。そういう人のための特別参加もありますので、下の案内をよく読んでください。

みんなが楽しみにしているキャンプ。みんなで楽しいものに作り上げましょう。

- **5年生の人**には全員にくわしい案内と申込書を同封しています。それを見て申しこんでください。
- **高校1年以上の人**で参加を考えている人は、住所、氏名、学年または年齢を7月1日までにかねて幼稚園に電話、FAX、メールなどで知らせてください。くわしい案内を送ります。それを見てから申し込みをしてください。また、5年生の時に学校行事で参加できなかった人は、特例として翌年、6年生の時に参加できますので、やはり7月1日までにお知らせください。
- 卒園生キャンプは自分の力と責任で参加するものです。楽しさを作り出すのも、あなたがた参加者です。

今までやったことの例…川歩き、工作、劇作り、釣り、おやつ作り、山登り、まきわり、ドラム缶風呂…などなど。楽しいよ。

タイムカプセル掘り出し会

卒園から15年たった第20期生のタイムカプセルの掘り出しは、2016年1月3日（日）に行います。12月ごろ幼稚園から案内を出しますので、ぜひ集まってください。

【第20期生とは…1994（平成6）年4月2日～1995（平成7）年4月1日に生まれた人】

「子ども・子育て支援新制度」への対応

「子ども・子育て支援新制度」が、いよいよ今年度から本格的に施行されました。一時は、現在ある幼稚園、保育園は、全て「こども園」になる、などとも言われましたが、その後いろいろと変遷があり、結局こども園になるか、幼稚園のまま残るかは、選択できることになっています。かえで幼稚園としても、状況を見ながら対応を検討してきましたが、今年度はこども園にはならず、従来の幼稚園のままで運営することにしました。厳密には幼稚園も2タイプに分かれますが、取りあえずは「従来型」の園のままです。しかし、今後は先をよく見通しながら、かえで幼稚園の精神が生きるような制度を慎重に選んでいきたいと思えます。卒園生、保護者のみなさんには、今後ともかえで幼稚園へのご支援を、よろしくお願いいたします。

来年度の園児募集

2016年度の新入園児募集は、次の日程で行います。9月になりましたら、入園案内の配付をはじめますので、詳しくはそちらをご覧ください。ご近所、お知り合いへの声かけ、情報提供もよろしくお願いいたします。

- ・入園説明会（見学会）…9月12日（土）
- ・在園児、卒園生の弟、妹、子どもの願書受付…9月24日（木）から
- ・一般の願書受付…10月1日（木）から

※ 卒園生の弟、妹と、卒園生のお子さんの入園は、一般よりも優先して受け付けています。もちろん卒園から何年後でも大丈夫です。最近では親が卒園生という「2代目園児」が増え、現在在園児の約10分の1となる16名もいます。大変うれしいことです。入園料は一般よりも1万円割引となります。

※ 詳しくは9月から配布する入園案内をご覧ください。

NAVIGATIONの送付は、卒園後15年間といたします。したがって、第20期生につきましては、この号で送付を終わらせていただきます。なお、PDF版は園のホームページにも掲載いたします。